

# 対ボツワナ共和国 国別開発協力方針

平成 29 年 9 月

## 1. 当該国への開発協力のねらい

ボツワナは 1966 年の独立以来、クーデター、内乱等がなく民主的な手続の下で選挙が行われている。また、経済に関しても、ダイヤモンド等の鉱物資源の開発により順調な成長を遂げ、一人当たり GNI が 6,610 米ドル（2016 年：世界銀行）を記録する高中所得国となっている。

しかしながら、産業構造を見ると、特にダイヤモンド産業への依存が大きく、同産業は雇用吸収率が少ないため、産業多角化と雇用機会創出が課題である。また、急速な経済成長の結果、所得格差が拡大しており、国内では未だ貧困問題を抱え、貧困削減及び生活の質の向上も課題となっている。

ボツワナ政府は、現在、VISION2036<sup>1</sup>に基づき、第 11 次国家開発計画<sup>2</sup>において、産業多角化の推進、人材育成、社会開発、天然資源の持続的な利用、効率的な管理と評価システムの実施等を優先分野として取組を進めている。

我が国は、これまで、ボツワナ政府による社会課題解決に向けた取組を支援してきた。引き続き、ボツワナ政府の優先分野における取組を支援し、これらの支援を通じて、ボツワナにおける安定的な経済成長及び雇用の創出に貢献するとともに、日本企業の投資拡大にも資することとし、我が国とボツワナとの友好・協力関係の更なる醸成を図る。

## 2. 我が国の ODA の基本方針（大目標）：産業の多角化と貧困削減に向けた支援

我が国は、ボツワナの VISION2036 及び第 11 次国家開発計画を踏まえ、ボツワナが目指す鉱業依存からの脱却、高失業率の改善と貧困撲滅に貢献すべく、産業多角化に向けた環境整備並びに貧困削減及び生活の質の向上を支援する。

## 3. 重点分野（中目標）

### （1）産業多角化に向けた環境整備

産業多角化に必要な不可欠な経済インフラ（運輸、情報通信、エネルギー、水資源など）の整備及び持続可能な発展を可能とする環境作りを支援する。また、産業多角化を直接担う民間部門の人材育成や、産業多角化に必要な政策を推進するため、公的部門の効率化、政策実施・管理能力向上等を支援する。

<sup>1</sup>VISION2036：ボツワナの 2016 年から 2036 年までの 20 年間の長期開発戦略を示したものの。全ての国民のための繁栄達成をテーマに、持続可能な経済開発、人的・社会開発、持続可能な環境、ガバナンス・平和及び安全保障を開発目標としている。

<sup>2</sup>第 11 次国家開発計画：ボツワナの 2017 年から 2023 年までの 6 年間の中期開発戦略を示したものの。持続可能な雇用創出と貧困撲滅実現のための包括的な成長をテーマに、年平均 4.4% の経済成長を目標とし、開発の優先分野を定めている。

## (2) 貧困削減及び生活の質の向上

急速な経済成長や地理的要因等により生じる経済格差や基本的な社会サービスの不平等を解消するため、コミュニティ開発、医療体制の充実、教育機会の提供、社会的弱者のエンパワメント、文化・スポーツ振興等を通じて貧困削減及び生活の質の向上を支援する。

### 4. 留意事項

(1) ボツワナは地上デジタルテレビ放送の規格として日本方式（ISDB-T方式）を採用し、運用を開始している。日本方式の円滑な普及に向けて、技術移転、人材育成等の支援を実施していく。

(2) 開発協力案件の形成にあたっては、TICAD<sup>3</sup>プロセスや持続可能な開発目標（SDGs）<sup>4</sup>との整合を図るとともに、SADC<sup>5</sup>の広域開発の視点を念頭に置く。

（了）

別紙： 事業展開計画

---

<sup>3</sup> アフリカ開発会議（Tokyo International Conference on African Development: TICAD）：1993年以降、日本政府が主導し、国連、国連開発計画（UNDP）、世界銀行、アフリカ連合委員会（AUC）などと共同で開催。2016年8月にはケニアで、アフリカ初のTICADとなるTICADVIを開催した。

<sup>4</sup> 持続可能な開発目標（SDGs）：2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて設定された2016年から2030年までの国際目標。

<sup>5</sup> 南部アフリカ開発共同体（Southern African Development Community: SADC）：1992年に創設され、経済統合・共同市場を標榜し、更に紛争解決・防止のための活動も行っている。現在の加盟国は、タンザニア、ザンビア、ボツワナ、モザンビーク、アンゴラ、ジンバブエ、レソト、スワジランド、マラウイ、ナミビア、南アフリカ、モーリシャス、コンゴ（民）、マダガスカル、セーシェル、コモロ連合の16か国。